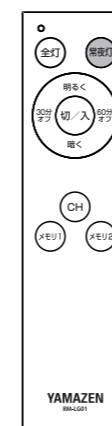
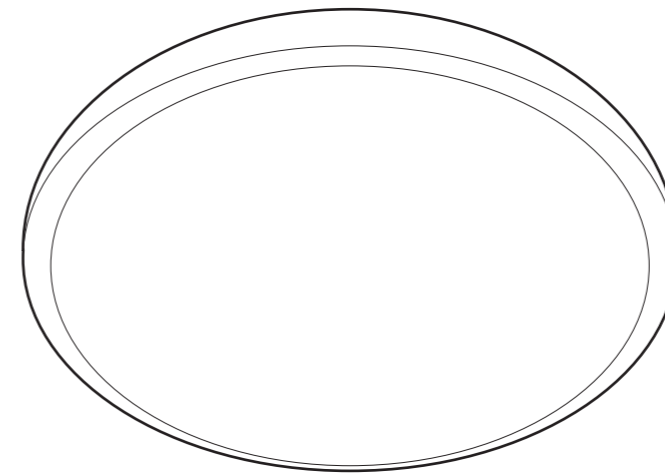


**LEDシーリングライト
(調光機能付き)**

**LC-G06
LC-G08
LC-G12**

一般家庭用・屋内用



●リモコン付き

もくじ

- 安全上のご注意 P.1-2
- 仕様 P.2
- 各部の名称 P.2
- 取り付け方法 P.3
- 取り外し方法 P.4
- ご使用前の準備 P.4
- 使い方 P.5
- チャンネル設定について P.5
- お手入れについて P.6
- ご使用上のお知らせ P.6
- 修理を依頼される前に P.6
- 安全チェックシート 裏表紙
- アフターサービスについて 裏表紙
- 製品保証書 裏表紙

最新情報はオリジナルブランドページ
YAMAZEN BOOKを
チェック!



随時情報を更新中!

このたびはお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの説明書をよくお読みください。
お読みになった後大切に保存し、必要なときにお役立ててください。

■安全上のご注意

※ご使用前に、取扱説明書「安全上のご注意」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告	
<p>交流100ボルト以外では使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●直流や交流 200 ボルトで使用すると火災や感電の原因となります。 	<p>器具や光源を布や紙などで覆ったり、燃えやすいものを近づけない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災・損傷・過熱・故障・変形の原因となります。
<p>器具のすき間などに金属類を差し込まない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電事故の原因となります。 	<p>異常を感じた場合、電源を切る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●異常状態が収まったことを確認し、販売店または電気店にご相談ください。
<p>お手入れの際は、水洗いをしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電・ショートの原因となります。 	<p>器具の取り付けは取扱説明書に従って確実にこなう</p> <ul style="list-style-type: none"> ●器具落下・火災・感電・けがの原因となります。
<p>取り付けできない配線器具に無理に取り付けけない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災・感電・落下してけがの原因となります。 <p>〈取り付けできない配線器具〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源端子が露出しているもの ・破損しているもの ・固定が不十分でグラグラするもの 	<p>必ず壁スイッチがある配線器具に取り付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ●異常時に電源が切れず、過熱・火災・感電・やけどなどの原因となります。
<p>配線器具が破損したり、差し込みがゆるいときは使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電・ショート・発火・落下の原因となります。 	<p>接続端子にホコリが付着している場合は拭き取る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ホコリが付着したまま配線器具に差し込むと、ショート・火災の原因となります。
<p>調光器・発電機には使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●器具の損傷・過熱・故障の原因となります。 	<p>絶対に分解したり、修理・改造は行わない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災・感電・落下の原因となります。
<p>このような場所には取り付けない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この器具は水平天井面取り付け専用です。指定以外の場所に取り付けると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。 <p>平面部が直径 600mm 未満の場所(例：下図)</p>	<p>濡れた手でさわらない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電の原因となります。
<p>調光機能がついた壁スイッチの場合は一般用の入切用スイッチに交換する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災の原因となります。 ・調光器の取り外しが必要です。工事店や電器店にご依頼ください。(取り外しには電気工事士の資格が必要です。) 	<p>器具の取り付け・取り外し・お手入れの際は安全のため電源を切る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●通電状態で行なうと感電の原因となります。

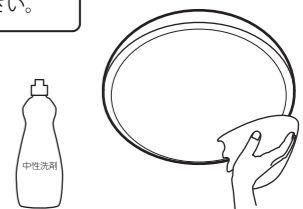
注意	
<p>温度の高くなるものを近くに置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●器具の真下にストーブなどを置かないでください。火災の原因となります。 	<p>使用場所によっては、天井や壁紙などに変色等の悪影響を与えるので注意する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●連続照射・風の流の影響を考慮して設置してください。
<p>シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やカビ取り剤、クレンザーなどは使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●器具に傷をつけたり、変色、変質の原因となります。 	<p>リモコンの電池は⊕⊖を正しく入れる</p> <ul style="list-style-type: none"> ●間違えて入れると、故障するだけでなく液もれや破裂の原因となります。
<p>殺虫剤・防水スプレーなどをかけない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●器具の変色、変質の原因となります。 	<p>長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●長期間入れたままにしておくとも液もれによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因となります。
<p>最終使用者(一般ユーザー)は、この照明器具の光源を交換しない</p>	<p>リモコンを廃棄するときは電池を抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのまま廃棄すると思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。
<p>リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●液もれなどの原因となります。 	<p>器具の取り付け・取り外し・お手入れの際は安全のため電源を切る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●通電状態で行なうと感電の原因となります。
<p>リモコンの電池は直射日光のあたる場所など高温になる場所に置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●液もれや破裂、火災などの原因となります。 	
<p>本製品に衝撃や振動を与えない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●けが、やけどの原因となります。 	

■お手入れについて

照明器具が汚れていると暗くなります。明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃することをおすすめします。

注意 ・必ず壁スイッチを OFF(切)にするか、電源を遮断してください。感電事故の原因となります。
・消灯直後は本体や器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃してください。

1. 水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取る
2. 汚れ落ちを確認後、洗剤分を拭き取る
水に浸して固く絞った布で完全に拭き取ってください。
3. 仕上げに乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取る
 - ・リモコンの送信部は、乾いた柔らかい布で定期的に汚れを拭き取ってください。汚れると、リモコンでの操作がしにくくなります。



お手入れにベンジン・シンナーなどの揮発性のものや、クレンザー・磨き粉、たわし、硬いスポンジなどは使用しないでください。変質や破損の原因となります。

注意 ・本体には絶対に水をかけたり、水につけて洗ったりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
・殺虫剤などをかけないでください。変色や破損の原因となります。

■ご使用上のお知らせ(故障・異常ではありません)

【製品の留意点】

- ・点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- ・LEDにはバラつきがあるため、器具内の個々のLEDや同一型名の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。
- ・LEDが点灯しない場合は、電源を切り、販売店・工事店、またはお客さまサービス係(保証書内記載)にご相談ください。
- ・本製品は LED 灯です。蛍光灯と照らし方が異なります。
- ・1 個の壁スイッチで 2 台以上の照明器具を操作する場合、同時に切り替わらないことがあります。
- ・リモコンで消灯しても、待機時に電力を消費しています。長時間使用しない場合は、壁スイッチを切ってください。
- ・ランプ交換式ではありませんので、お客様自身での LED 光源の交換はできません。
- ・停電復帰時や、予期せずにごく短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わることがあります。

【周囲の影響】

- ・天井の材質や構造によっては、天井面が変色する事があります。
- ・本体の近くではラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- ・3D テレビ用など特殊なメガネをかけて照明器具を見た場合ちらついて見えることがあります。
- ・点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入ることがあります。

■修理を依頼される前に

製品の動作がおかしいときは下記を参考に点検をおこなってください。

処置をしても異常がある場合は、必ず壁スイッチをオフにしてお買い上げの販売店が弊社お客さま相談窓口までご連絡ください。

警告 分解したり修理をしない

現象	考えられる原因	処置方法
点灯しない	電源(壁スイッチなど)がオフになっている	電源(壁スイッチなど)をオンにしてください
	本体が「消灯」状態になっている	「壁スイッチで操作する」を参照し、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをオンにしてリモコンで切り替えてください
	接続端子が配線器具に確実に取り付けられていない	接続端子を配線器具に確実に取り付けてください
操作していないのに、点灯したり点灯状態が変わる	短い停電などにより「壁スイッチで点灯状態を切り替える」機能が働き、点灯状態が切り替わった	ご使用にならない時は、壁スイッチをオフにしてください 「壁スイッチで操作する」を参照し、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをオンにしてリモコンで切り替えてください
勝手に消灯する	「タイマー」がオンになっていた	消灯すると、「タイマー」はオフになります。
リモコンで操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れてください
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換してください
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを変更して操作してください
	他の機器(スマートフォン、タブレット、3Dテレビなど)から出る赤外線の影響により、リモコンが反応しにくくなっている	他の機器を照明器具から遠ざける、照明器具に対する向きを変える、または電源を切ってください
	リモコン上部の送信部が汚れている	「お手入れについて」を参照し、送信部を清掃してください。
リモコン操作時にちらつく	調光動作をしている	調光(下限付近)動作時、ちらつく場合がありますが、異常ではありません。調光動作が終わると、ちらつきも止まります

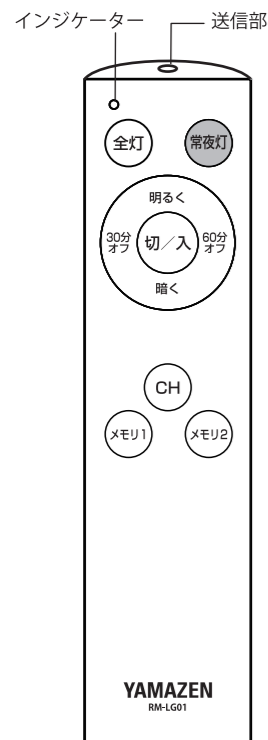
■使い方

1. 壁スイッチをオンにする

購入後初めて接続した場合、照明が点灯します。

2. リモコンで操作する

※リモコン送信部を器具本体に向けて操作してください。



- 切/入** 切/入…………… 「ピッ」と鳴り、器具が点灯 / 消灯します。点灯時は前回消灯時の状態で点灯します。
- 全灯** 全灯…………… 「ピッ」と鳴り、昼白色(約 5000K)で点灯します。
- 常夜灯** 常夜灯…………… 「ピッ」と鳴り、常夜灯が点灯します。常夜灯は調光できません。
- 明るく・暗く** …… 「ピッ」と鳴り、明るく～暗く 10 段階で明るさを調整できます。長押しすると、約 1 秒後に「ピッ」と鳴り、無段階調光を開始します。上限または下限に到達すると「ビピッ」と鳴ります。
- 30 分オフ・60 分オフ** …… 自動消灯までの時間を選べます。(オフタイマー) 点灯状態で「30 分オフ」または「60 分オフ」ボタンを短く(1 秒以内)押し「ピッ」と鳴り、30 分後または 60 分後に自動で消灯します。タイマーボタンを長く(2 秒以上)押し「ビピッ」と鳴り、タイマーが解除されます。
- CH** CH…………… チャンネル設定に使用するボタンです。詳細は「チャンネル設定について」をお読みください。
- メモリ 1・2** …… お好みに調整した設定を 2 通りまで記憶する事ができます。お好みの明るさで「メモリ 1」または「メモリ 2」ボタンを長押し(2 秒以上)すると「ビピッ」と音が鳴り、設定が記憶されます。設定後は「メモリ 1」または「メモリ 2」ボタンを短く(1 秒以内)押し、記憶した設定で点灯します。※メモリボタンは消灯時に押ししても点灯しません。器具が点灯している状態でご使用ください。

●壁スイッチで操作する

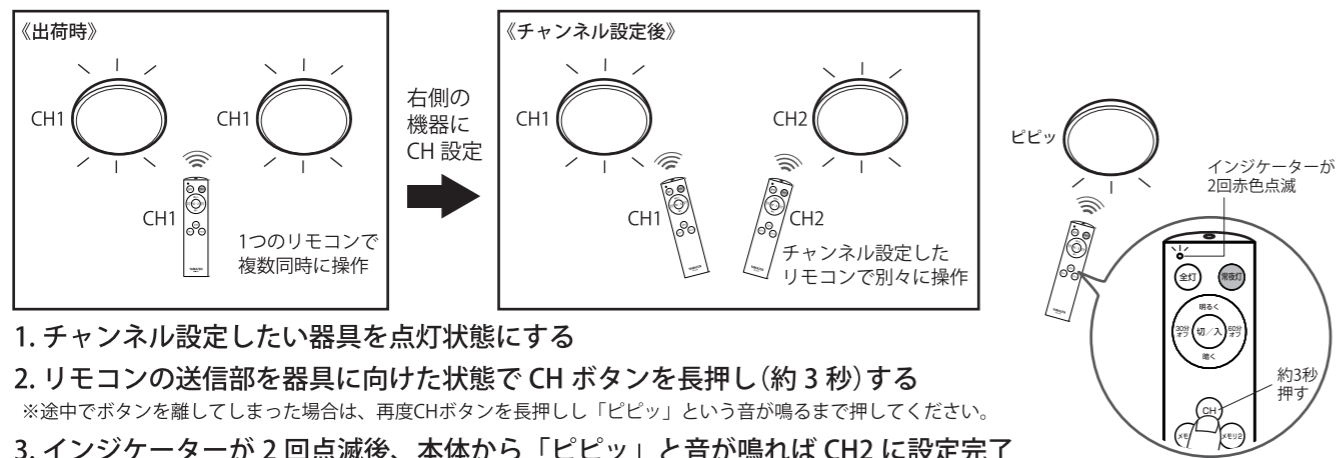
壁スイッチのオン・オフで、電源の入・切ができます。

壁スイッチで、点灯状態を切り替えることができます。

- ・点灯状態で壁スイッチを短く(約 1 秒以内に)オフ・オンすると、点灯状態と常夜灯をくり返します。
- ・リモコンでオフした場合、壁スイッチを短く(約 1 秒以内に)オフ・オンすると、全灯と常夜灯をくり返します。

■チャンネル設定について ※出荷時は CH1 に設定されています。

同一の照明器具(山善 LC-G シリーズ)を複数台ご使用になる場合、別々に操作したい時はチャンネル設定をしてください。



1. チャンネル設定したい器具を点灯状態にする
2. リモコンの送信部を器具に向けた状態で CH ボタンを長押し(約 3 秒)する
※途中でボタンを離してしまった場合は、再度 CH ボタンを長押しし「ビピッ」という音が鳴るまで押ししてください。
3. インジケータが 2 回点滅後、本体から「ビピッ」と音が鳴れば CH2 に設定完了

※チャンネル設定解除方法

- ①解除したい器具を点灯状態にする
- ②リモコンの送信部を器具に向けた状態で CH ボタンを長押しします。
約 3 秒でリモコン左上のインジケータが 1 回点灯(赤色)後に消灯、その後「ピッ」という音が鳴れば解除完了(CH1に戻る)です。

〈ご注意〉

すでにチャンネル設定した器具(CH2)がある状態で、別の器具のチャンネル設定をおこなうと、チャンネル設定した器具はどちらも CH2 になり、設定に使用したリモコンで操作が可能となります。

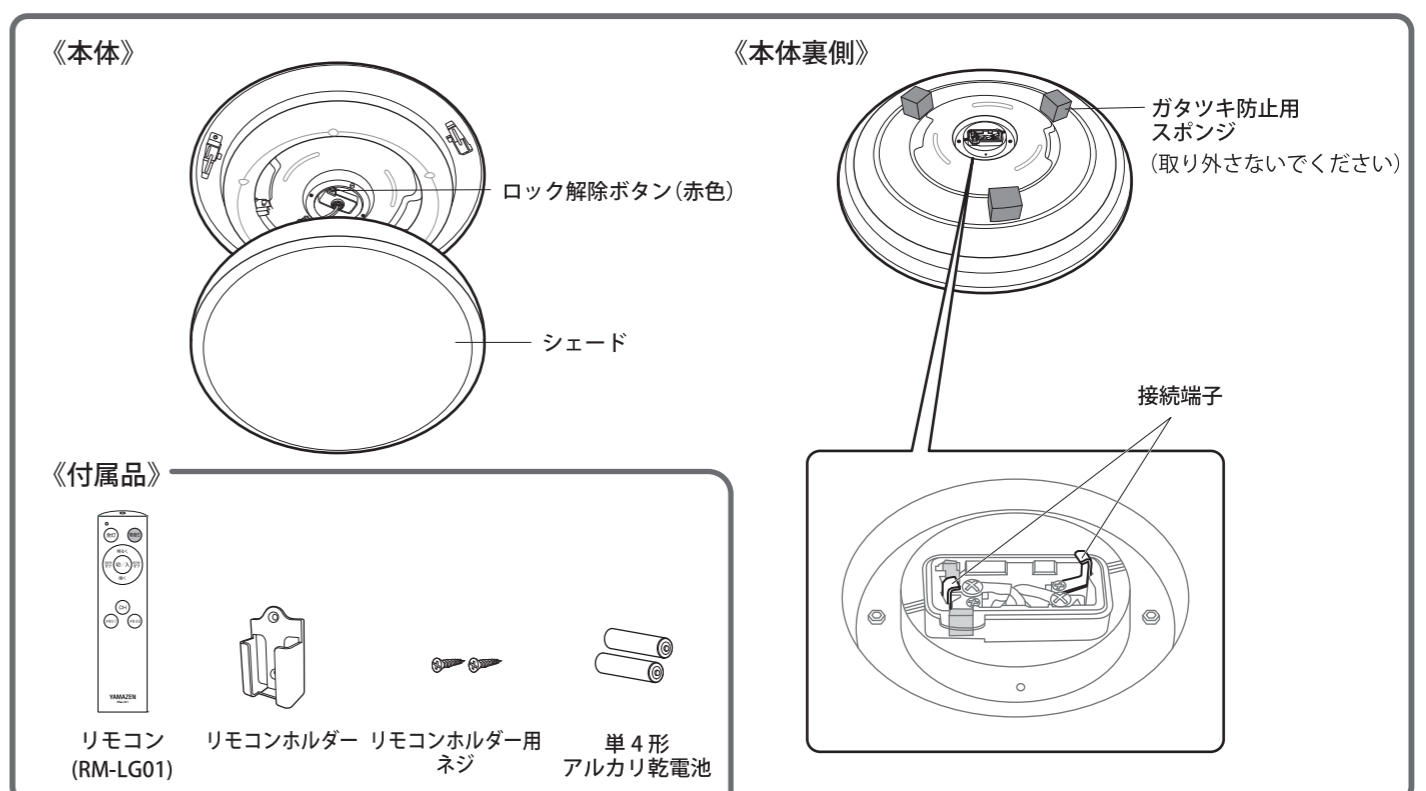
▲注意

禁止	本製品の一部分が破損した場合、そのまま使用を続けず、また破損した部分に直接触れたりしない ●けが、やけど、落下の原因となります。	本製品は一般家庭用です ●店舗や業務用としてご使用されますと、保証期間内でも有料修理となります。
	ラジオやテレビなどの音響機器・映像機器を近くで使用しない ●雑音の原因となることがあります。使用する場合はできるだけ離して使用してください。	
指示に従う	屋外で使用しない ●感電・火災の原因となります。	酸・硫黄などの腐食性雰囲気(温泉地など)の所では使用はしない ●漏電・落下・引掛シーリング腐食の原因となります。
	照明器具には寿命があり、設置して 10 年経過すると、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しているため、点検または交換する ●点検せずに長期間使い続けると、火災・感電・落下する原因となります。 ◆1 年に 1 回は点検してください。(「安全チェックシート」参考におこなってください。	
水ぬれ禁止	器具で指定された取り付け方法を守り、確実に取り付ける ●熱を持ったり、故障・落下の原因となります。	浴室など水や湿気の多い場所や屋外で使用しない ●この製品は非防水ですので、火災・感電・破損の原因となります。
	被照射物との距離を近づけすぎない ●色あせ・変色の原因となります。	

■仕様

型名	LC-G06 (6 畳タイプ)	LC-G08 (8 畳タイプ)	LC-G12 (12 畳タイプ)
電源	AC100V		
周波数	50Hz/60Hz 共用		
器具光束(最大)	3600 lm	4100 lm	5300 lm
消費電力(最大出力時)	32W	37W	48W
固有エネルギー消費効率	112.5 lm/W	110.8 lm/W	110.4 lm/W
推奨使用周囲温度	5~35℃		
製品サイズ	約Φ480×H108mm		
質量	約 1.25kg		
機能	LED 照明：明るさ 10 段階		
対応リモコン型番	RM-LG01		

■各部の名称 取り付ける前に、下記の部品が全て揃っていることをお確かめください。(図は一部を簡略化したものです)







■取り付け方法 **⚠警告** 必ず電源をオフしてからおこなってください。

1. 天井についている配線器具（引掛シーリング、ローゼット）の寸法と形状を確認する。

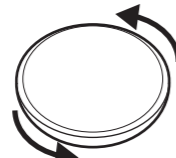
⚠注意 高所での作業となりますので、必ず足元の安全を確保してからおこなってください。

※下図以外の配線器具、または配線器具がない配線だけのものには取り付けできません。電気店、または工事店に工事を依頼してください。
※資格のない方の工事は法律で禁止されています。

天井からの出しろ	20mm 以上 24mm 未満	10mm 以上 14mm 未満
形状	   	 

2. シェードを取り外す

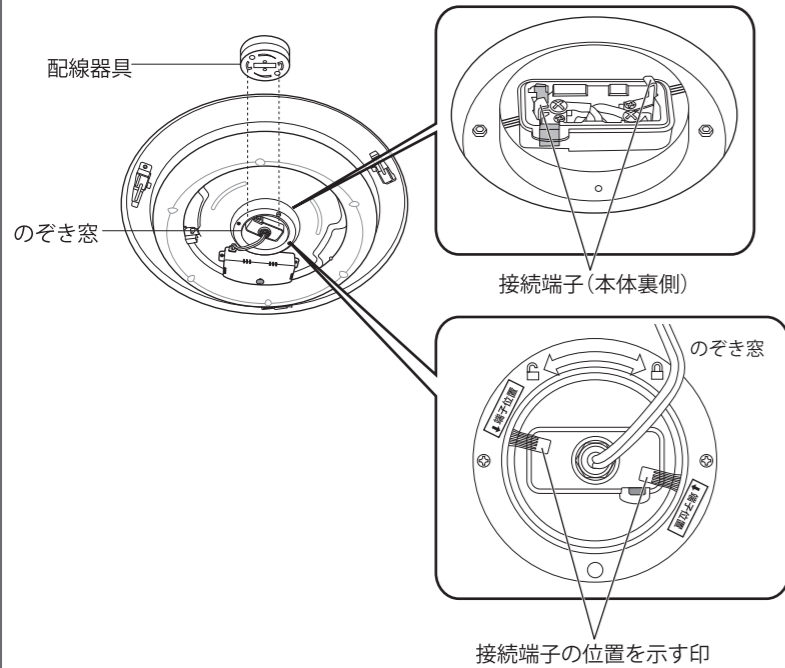
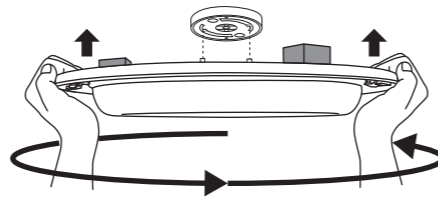
シェードを反時計回りに回して本体から取り外してください。



3. 本体を取り付ける

① 本体中央ののぞき窓から配線器具の端子差込口の位置を確認し、そのまま持ち上げて端子を差し込んでください。

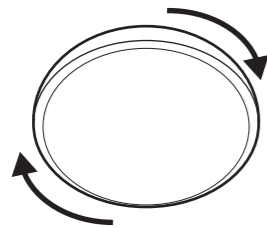
② 本体を天井側に押し付けながら、「カチッ」と音がするまで時計回りに回してください。
※ロック解除ボタンは押さずに回してください。押しながら回すと「カチッ」と音がしません。
※配線器具の種類によっては「カチッ」と音がしない場合があります。



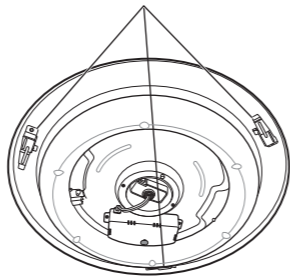
4. シェードを取り付ける

① シェード取付用突起部が本体のシェード固定金具の間に入るように合わせ、シェードを押し付けながら時計回りに軽く回してください。シェード取付用突起部が本体のシェード固定金具に入ります。

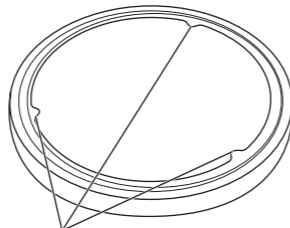
② シェードの回転が止まるまで時計回りに回し、確実に取り付けてください。



シェード固定金具(3か所)



シェード取付用突起部(3か所)



⚠注意 本体を必要以上に回転させないでください。配線器具が破損します。

⚠警告 シェードは確実に本体に取り付けてください。落下によるけがのおそれがあります。

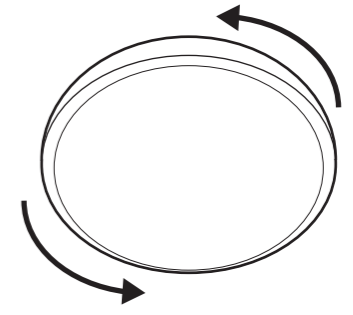
照明器具がぐらついたり傾いたりしている場合は正しく取り付けられていないため、もう一度取り付けなおしてください。
※取り付け後、使用したときに異常がみられた場合は、壁スイッチを切り、もう一度照明器具を外して、取り付けなおしてください。

■取り外し方法

⚠警告 ・取り外しは必ず電源を遮断してからおこなってください。
・消灯直後は本体や器具の中が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから取り外してください。

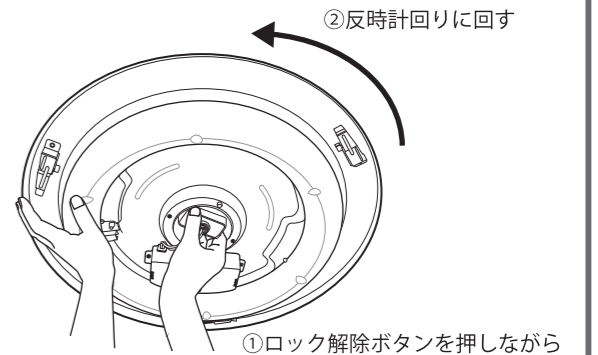
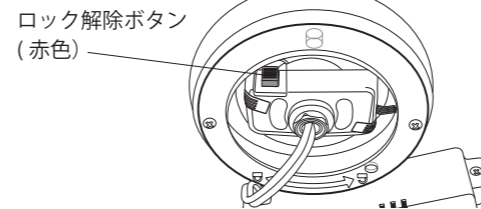
1. シェードを取り外す

シェードを反時計回りに回して本体から取り外してください。



2. 本体を取り外す

ロック解除ボタンを押しながら、反時計回りに回して本体を下げ、取り外してください。



⚠注意 本体を片方の手で支えながら外してください。器具の落下によるけがや破損の原因となります。

■ご使用前の準備

●リモコン乾電池の入れ方

1. リモコン裏面のカバーをスライドさせてははず

2. 表示に合わせて⊕⊖を間違えないように乾電池を入れ、カバーを閉じる

- ・電池の寿命は新品のアルカリ乾電池を使用したときで、約1年です。付属の電池は動作確認用であり、上記より早く消耗することがあります。
- ・電池を交換するときは、2本とも新品の単4形アルカリ乾電池に交換してください。
- ・新旧、異種の電池を混ぜて使用しないでください。
- ・長時間使用しないときは、電池を取り出して保管してください。

●リモコン収納のしかた

リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納ができます。

※収納した状態では操作しないでください。

